

おもな血液検査のめやす

岡山県医師会制定基準範囲・健診値の指導基準（平成15年改定）

| | 検査項目名 | 何がわかる | 単位 | 基準範囲 | 要指導 | 要治療 |
|-----|-------------------------|------------------------------|---------------|----------------------------|---------|--------|
| 脂質 | 中性脂肪 (TG) | 体のエネルギー源となる 余分を皮下脂肪として蓄える | mg/dl | 40~150 | 151~300 | 301以上 |
| | 総コレステロール(CHO) | 動脈硬化を見つける | mg/dl | 130~220 | 221~260 | 261以上 |
| | HDLコレステロール (HDL-CHO) | 善玉コレステロール | mg/dl | 男 41~85 女 41~100 | 40以下 | |
| 腎機能 | クレアチニン (CRN) | 腎臓のろ過機能をみる 筋肉の収縮に関係する | mg/dl | 男 0.60~1.10 女 0.45~0.80 | 1.11以上 | 0.81以上 |
| | 尿酸 (UA) | 腎臓の働きをみる 痛風、多量の飲酒を見つける | mg/dl | 男 3.5~7.0 女 2.5~7.0 | 7.1以上 | 7.1以上 |
| 糖 | 空腹時血 (FPG) | 糖尿病を見つける | mg/dl | 70~110 | 111以上 | |
| 肝機能 | 総蛋白 (TP) | 肝臓や腎臓の働きをみる | g/dl | 6.5~8.0 | 8.1以上 | 6.4以下 |
| | LD (LDH) | 組織の損傷具合をみる | IU/l | 120~240 | 241以上 | |
| | AST (GOT) | 肝臓の損傷具合をみる | IU/l | 10~35 | 36以上 | |
| | ALT (GPT) | 肝臓の損傷具合をみる | IU/l | 7~42 | 43以上 | |
| | γ-GT (γ-GTP) | 肝臓の解毒作用をみる 飲酒の程度をみる | IU/l | 男 5~60 女 5~40 | 61以上 | 41以上 |
| | ALP | 胆道の閉鎖具合をみる | IU/l | 110~360 | — | — |
| 貧血 | 赤血球数 (RBC) | 体中に酸素を運搬する 貧血の程度を反映 | $\times 10^6$ | 男 4.2~5.5 女 3.8~4.8 | — | — |
| | 血色素量： ヘモグロビン (Hb) | 体中に酸素を運搬 貧血の程度を反映 | g/dl | 男 13.5~17.0 女 11.5~14.5 | — | — |

基準範囲・健診値の指導・治療基準は検査方法で異なる場合があります。

基準範囲・健診値の指導・治療基準は変更になる場合があります。

不明な点は医師、臨床検査技師に相談を!!

メタボリックシンドロームの診断基準

内臓脂肪の蓄積

腹囲（へそ周り） 男性 85cm 以上
女性 90cm 以上
（内臓脂肪面積が 100cm² 以上に相当）

+

「内臓脂肪の蓄積」に加え
右の項目のうち
2 項目以上を有する場合

脂質の異常

中性脂肪 150mg/dl 以上
HDL コレステロール 40mg/dl 未満
のいずれかまたは両方

血圧の異常

最高（収縮期）血圧 130mmHg 以上
最低（拡張期）血圧 85mmHg 以上
のいずれかまたは両方

高血糖

空腹時血糖 110mg/dl 以上

日本動脈硬化学会、日本肥満学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本循環器学会
日本内科学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会 合同委員会作成（平成 17 年）

がんを防ぐための 12 カ条

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>1 バランスのとれた栄養をとる -いろいろ豊かな食卓にして-</p> <p>ビタミン カルシウム 脂質 タンパク質 炭水化物</p> | <p>2 毎日、変化のある食生活を -ワバチアワチはありませんか？-</p> | <p>3 食べすぎをさげ、脂肪はひかえめに -おいしい物も適量に-</p> <p>8分目</p> | <p>4 お酒はほどほどに -健康的に楽しみましょう-</p> |
| <p>5 たばこは吸わないように -特に、新しく吸いはじめない-</p> | <p>6 食べものから適量のビタミンと繊維質のものを多くとる -緑黄色野菜をたっぷりと-</p> <p>A B C D</p> | <p>7 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから -胃や食道をいたわって-</p> | <p>8 焦げた部分はさげる -突然変異を引起こします-</p> |
| <p>9 かびの生えたものに注意 -食べる前にチェックして-</p> | <p>10 日光に当たりすぎない -太陽肌はつらうです-</p> <p>カサカサ</p> | <p>11 適度にスポーツをする -いい汗、流しましょう-</p> | <p>12 体を清潔に</p> |

出典「国立がんセンターがん対策情報センター」（平成 19 年）

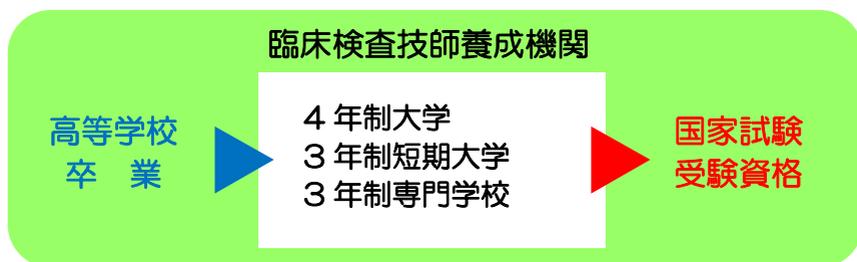
臨床検査技師の役割

「臨床検査」には尿検査、血液検査、微生物検査、輸血検査、病理検査などの検体検査と、心電図、脳波、超音波などの生理機能検査があり、「臨床検査」は、わたくしたち「臨床検査技師」が担当しています。

医師はさまざまな「臨床検査」から得られたデータを解析し、患者さんの病気を診断し、治療方針を決定します。つまり、「臨床検査」は治療の入り口でもあり、病気の経過観察、治療効果の判定、重大な病気の早期発見などに大きく貢献しています。

臨床検査技師になるためには

臨床検査技師になるには高等学校を卒業後、大学や専門学校で臨床検査技師の養成課程を修め、国家試験に合格しなければなりません。

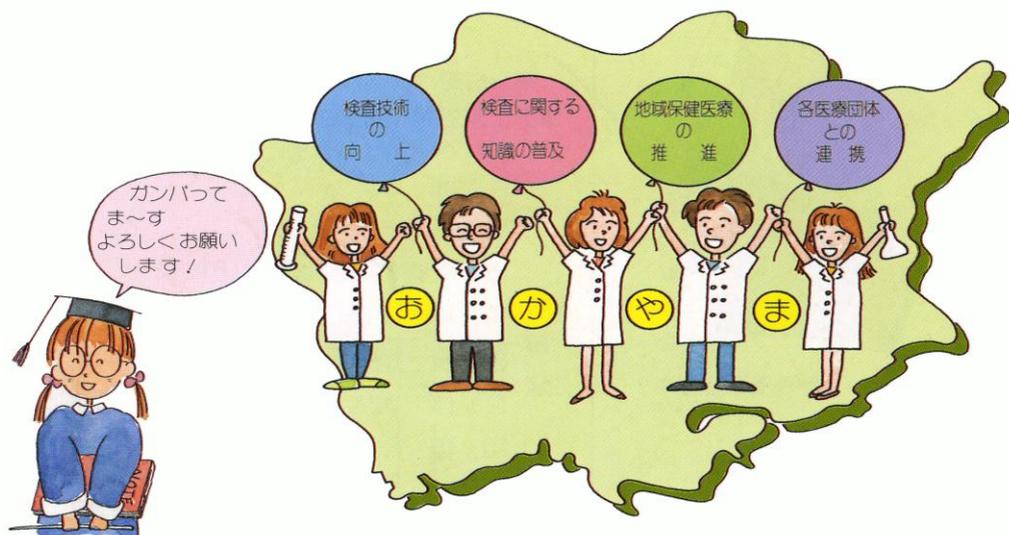


臨床検査技師の勤務先

病院や診療所など、全国の医療機関に勤務している臨床検査技師は約5万人で、看護師、医師に次いで3番目に多い職種です。そのほかでは、検査センター、健診センター、機器・試薬メーカー、衛生研究所、教育・行政機関、保健所など、臨床検査技師の勤務場所は広範囲にわたっています。

「社団法人 日本臨床衛生検査技師会ホームページ」を改変

臨床検査技師会の活動



社団法人 岡山県臨床検査技師会では、①検査技術の向上、②検査に関する知識の普及、③地域保健医療の推進、④各医療団体との連携を活動の柱としています。学会、研修会などを開催し、会員の知識の習得、いろいろな専門分野における認定資格の取得の機会を提供し、常に会員の資質向上をめざしています。また、どこの病・医院で検査しても同じ検査成績が提供できるよう会員一同で取り組むとともに、健康講演会・検査展の開催、地域での健康増進イベントへの参画などを通じ、県民のみなさんの健康保持、増進の一翼を担っています。

(平成 22 年 2 月作成)

発行 社団法人 岡山県臨床検査技師会

ホームページ : <http://okaringi.or.jp/>

E-mail : okajimu@okaringi.or.jp

TEL : 086-243-2239

FAX : 086-243-7344